

令和7年5月近江八幡市教育委員会定例会（要旨）

1. 開催日時 令和7年5月27日（火） 9時30分～11時00分

2. 開催場所 近江八幡市水道事業所3階 AB会議室

3. 出席委員	教育長	安田 全男
	教育長職務代理者	重森 恵津子
	委員	西田 佳成
	委員	大更 秀尚

4. 事務局出席者

教育部長	太田 明文
教育総務課長	澤 千央
教育部次長兼学校教育課長	富江 康子
教育研究所長	楠本 茂樹
教育部次長兼学校給食センター長	奥村 信満
教育部次長兼生涯学習課長	清水 和仁
近江八幡図書館長	奥村 恭代
スポーツ課長	村田 崇
国スポ・障スポ推進課長	伊崎 裕二
子ども健康部幼児課長	土井 忠弘
総合政策部企画課長	武田 善雄
総合政策部企画課主事	野田 卓治
教育総務課長補佐	竹浪 雄大
教育総務課主幹	岡田 清久
教育総務課副主幹	但田 祐子

5. 会議を傍聴した者 0人

6. 会議次第

【議案】

- 議第16号 令和7年度教育費に関する6月補正予算の要求について（非公開）
- 議第17号 学校給食センターにおける調停対応について（非公開）

【協議事項】

- 近江八幡市子ども・子育て会議委員の選任について
- 近江八幡市男女共同参画審議会委員の選任について
- 子ども・若者起業支援等プロデュース協議会設置要綱の制定について

【報告事項】

- 点検・評価における意見等の令和7年度取組への反映状況について
- 滋賀県教科用図書第3採択地区協議会について
- 松前町近江八幡市中学生交流事業について

【その他】

- 第3期近江八幡市教育大綱の策定について
- おうみ自治体クラウド共同調達・近江八幡市立図書館 新システムの更新について

7. 議事の経過

（1）開会（日程確認）

- ・教育長が5月定例会の開会を宣言
- ・出席委員定数の確認
- ・日程について 承認

議案

- 議第16号 令和7年度教育費に関する6月補正予算の要求について
非公開
- 議第17号 学校給食センターにおける調停対応について
非公開

（2）会議録の承認

- 4月定例会の会議録 承認

(3) 教育長挨拶及び報告

去る5月15日から全国都市教育長協議会が川越で開催され、出席させていただいた。約600人の教育長が参加され、全国の地方行政の課題を真剣に議論し、活発な意見交換がなされた。私としては、その中で令和6年12月25日の中央教育審議会の諮問を受けた学習指導要領の改訂に向けた議論が始まっていることについての情報共有が大変有意義であったと考えている。特に検討4項目のうちの1つに「多様な子供たちを包摂する柔軟な教育課程の在り方」があり、その小項目として「子供たちの可能性が輝く柔軟な教育課程編成の促進」が検討されているということである。これは各種特例校制度を今まで以上に活用しやすくすることや、標準授業時数に係る柔軟性、学習内容の学年区分に係る弾力性、単位授業時間や年間の最低授業週数の示し方を検討対象としている。現状では特例校制度を実施するためには文部科学省の承認が必要だが、数年後、5、6年後になると思うが、各学校でかなり自由な対応が可能になってくると予想される。折しも本市においては生き抜く力の醸成について新たな取組をしようと考えており、フォローの風が吹いていると感じる。また今年度、本市教育大綱の改訂を予定するが、そうした場でも、我々教育委員、教育長が国の動向に注目し、国の動きを先取りするような議論ができればと考える。こうした状況も踏まえ、今後の議論にもご協力いただくようお願い申し上げ、冒頭の報告とさせていただく。

(4) 議事

◆議第16号 令和7年度教育費に関する6月補正予算の要求について（非公開）

【事務局説明】…教育総務課、学校給食センター、幼児課

【採 決】

令和7年度教育費に関する6月補正予算の要求について

承認

◆議第17号 学校給食センターにおける調停対応について（非公開）

【事務局説明】…学校給食センター

【採 決】

学校給食センターにおける調停対応について

承認

●協議事項

◎近江八幡市子ども・子育て会議委員の選任について

【事務局説明】…教育総務課

【意見等】

○大更委員

大更が引き続きさせていただこうと思うが、いかがか。

【選任】

大更秀尚委員（全員賛成）

◎近江八幡市男女共同参画審議会委員の選任について

【事務局説明】…教育総務課

【意見等】

○重森委員

重森の方で引き受けさせていただきたい。

【選任】

重森恵津子委員（全員賛成）

◎子ども・若者起業支援等プロデュース協議会設置要綱の制定について

【事務局説明】…生涯学習課

【質問等】

○西田委員

第 10 条に「協議会の庶務は、子ども・若者政策主管課において処理する」とあり、今の説明を聞いて、これが生涯学習課であることが分かったが、文章として生涯学習課と入れなくてもよいものか。

○生涯学習課

庁内における要綱や要領等に、主な事業を担当する課としての表現があり、それに準じている。

○重森委員

定義のところで「子ども・若者とはおおむね就学前から 39 歳まで」と書かれているが、これがプロデュース事業の対象者と考えてよいのか。どのようなことを想定し就学前からとされたのか伺いたい。

○生涯学習課

法によって捉え方は異なるが、本事業の対象についてはこのとおりとしたい。本市においては、相談業務を小・中学生対象に行っており、その小学生の部分については就学前との関わりを非常に大事にしている。そうした相談業務の視点からと、就労、起業に向けて小学生段階から大事にしていくとなると、それも含めた就学前という捉えが生じてくるためである。

●報告事項

◎点検・評価における意見等の令和 7 年度取組への反映状況について

【事務局説明】…教育総務課

【意見等】

○教育長

昨年度の点検評価では、令和 5 年度の実績を評価いただいたが、特に関係する各事業、施策、各課がしっかり連携できているかという意味で、プラットフォームに焦点を当て、横断的な連携が大事であるという評価をいただいた。その評価に基づいて、令和 7 年度予算等に反映できているかについて、今予算要求のあり方をお示しさせていただいている。これを踏まえ、今回は新たに令和 6 年度の実績について点検評価をしていただく段取りである。第 1 回目の会議では、スケジュールや検討の仕方、評価の仕方について議論いただき、第 2 回目は終日となるが、詳しく各課からのヒアリングを行い、評価をしていただく予定である。非常にタイトなスケジュールとなるが、よろしくをお願いしたい。

○大更委員

例えば、東近江市などは教育研究所が非常に活発に活動されており、私も研修会等に参加させていただくことが多い。そこで東近江市の教育長と話をしていると、「東近江市だけではなく、近隣の学校や教育委員会にも声を掛けている」ということをおっしゃっていた。本市でもぜひ、研修会を開くときには近隣にもアピールをしていただき、共に学べる場を作っていただけると

ありがたい。私も東近江市で開催された宝塚大学の日高先生の研修会に参加させていただいたが、東近江市では予算をとって著名人を呼んでおられるので、そうした情報交流や情報交換も必要であると思った。また、特に性の多様性や新たな人権問題等、高度にセンシティブな内容については、例えば今申し上げた宝塚大学の日高先生や、岡山大学の中塚先生のお話を聞かせていただくと、自分たちで研修するよりも、もっときちんとした内容を勉強できるのではないかと思う。先生方にいろいろな研修に参加していただこうと思うのであれば、予算を組んでいただくか、近隣の市町と合同で、大きな会場で研修することも考えていただければと思う。そうすれば、「子どもの豊かな心と健やかな体、確かな学力を育成します」という目標 1 のところに関わる内容を、先生方が共有できるのではないかと考える。

○教育長

今後の参考にさせていただきたいと思う。

○重森委員

「令和 7 年度取組への反映状況」は、ホームページ等に掲載されるのか。

○教育総務課

こちらは、先ほど教育長からも説明があったとおり、昨年 7 月の段階で、令和 5 年度を対象とした点検評価の中で委員からいただいたご意見である。しかし、すでにその段階で令和 6 年度がスタートしており、予算を含めすぐに対応が難しかったため、令和 7 年度の予算や教育行政基本方針への反映状況というかたちで整理をさせていただいたところである。

これからの作業としては、時間を遡るかたちとなるが、令和 6 年度の事業を点検評価いただき、最終的にはその内容をホームページに公開させていただく。令和 7 年度への反映状況については、令和 6 年事業を点検評価していただく上での参考資料という理解をお願いしたい。

○重森委員

予算をとって事業を行うものについては詳細に書かれている一方で、他人行儀な表現も見受けられる。例えば施策 6 の③のところで、英語について「会話ができて当たり前というところまでレベルアップしてほしい」という委員からの熱い思いが伝えられているが、これに対して「必要性は伝えています」と受け流しているような部分もあり、これがホームページでオープンになった時に、見た人がどう感じるかと少し心配になり、質問させていただいた。

○教育長

もともと「反映状況」の取りまとめは、委員の皆様から自分たちが評価し

たものが次にどのように反映されるのかをしっかりと見届けたい、反映状況をまとめて示してほしいという要請があり、こういうものができている。したがって、これ自体はホームページに載せるものではないが、今おっしゃっていただいたように、「他人行儀ではないか」「これできちんと反映できているのか」というご意見は、令和 6 年度の事業評価をしていただく折にあらためて頂戴できればと思っている。

○西田委員

おそらく、この反映状況を書いてくださった方も非常に苦勞されたと思う。我々の意見や要望が抽象的であればあるほど、反映状況も抽象的に書かざるを得ない部分があり、逆に数値化できるもの、例えば「SSW の数を何人増やしてほしい」と言う要望であれば、「何人増やしました」という具体的な答えが書けるのではないかと思う。我々意見する側もできるだけ具体的な意見を述べる必要があると、今私も反省している。

◎滋賀県教科用図書第 3 採択地区協議会について

【事務局説明】…学校教育課

【質問等】 特になし

◎松前町近江八幡市中学生交流事業について

【事務局説明】…学校教育課

【質問等】

○西田委員

参加者のところで「市立 4 校から 2 名ずつ選出」とあるが、私立は今回辞退されたのか。何か理由があるのか。

○学校教育課

今年度に限っては準備段階であり、手続の関係から時期的な問題もあり、市立中学校とさせていただいた。次年度以降については、私立や市内在住の中学生にも広げていきたいと考えているところである。

8. その他（意見交換）

◎第3期近江八幡市教育大綱の策定について

【意見交換等】

○教育長

第3期近江八幡市教育大綱の策定について、2回目の意見交換の場を持たせていただきたい。前回は、企画課より概要説明があったが、その後委員の皆様のお考えになられていることについて教えていただき、この議論を深めていきたいと思っている。6月上旬には総合教育会議も予定しているので、現段階における皆様方のご意見をお願いしたい。

お手元に教育大綱をお持ちなので、例えば理念のところや柱のところなど、そういうところも含めて思っておられることがあったらご発言願いたい。現時点で大綱の改定にあたって各委員のお考えがあれば、意見交換の場とさせていただきたい。

もちろん、次のステップでは、これまでの取組の成果や事業評価のようなデータ的なものも提示して、それに基づいたご意見を頂戴したいが、現時点では大まかな普段感じておられることなど、自由にご意見をいただければと思う。

○大更委員

なかなか大きく変更することではないと思っている。

例えば「施策6 情報化・グローバル化に対応した教育の推進」とあるが、5年前のことであり、既にスマートフォン等が普及し、もっといろいろな形で情報化が大事な部分になっているので、大綱への表現はこのままで良いのかもしれないが、中身は以前に比べてもう少し進んだ形で考えていかなければならない。

5年間の社会情勢や教育環境の変化を反映し、「ここを重点的にしていきたい」ということが分かるような、スローガンのような言葉も欲しい。3つの柱、5つの目標、19の施策があって、「この内容について、このようなことに取り組んでいこう」、「このようなことをやっていこう」というのは、教育現場であったり教育委員会事務局であったり、どちらかというと教育行政を中心にしっかりと頭の中にしっかりと入れておけば良いが、これを多くの市民に知っていただいたり、啓発したりする際には、ダイジェスト版のようなもので、分かりやすい表現で示せれば良いと思う。

重森委員が前回「もう少し分かりやすい言葉はないか」と意見されていたが、教育現場においてはこれでいいのかもしれないが、おうちの方が読まれたときに分かりにくい。これはこれで大事だが、ダイジェスト版のように分かりやすいものがあれば良いと思う。

○教育長

総合教育会議において、どのような議論がされているのかを市民の方にも関心を持っていただく方法もあると思う。でき上がったものも、市民に分かりやすくお届けするダイジェスト版のような分かりやすいものがあれば良いというご意見もおっしゃるとおりだと思う。

○大更委員

滋賀県教育委員会もリーフレットを出されている。私も分厚い冊子より概要版が分かりやすいので、そちらを読んでいる。

幼保の保護者も一緒に育っていければと思っている。現在の大綱にも書かれていて、3本柱のうち「親が育つ」とあるが、その親御さんが読まれたときに、「こういうことを皆で進めようとしているのか」と分かっていたるように、概要版のようなものが必要だと感じた。

○重森委員

教育大綱や教育振興基本計画のようなものをしっかりと読むのは近江八幡市が初めてなのだが、親が頑張ったことは、どこに指標として反映されているのか、なかなか読み切れない。書いてあることは、教育委員会が頑張ったことと、それを評価指標としてどうかという視点が前面に出ている。「親が育つ」、「市民（人）が育つ」という部分には、「自分たちが頑張ったから、こうなった」という、何か指標の視点を变える必要があるのではないかと思いながら見せていただいた。例えば、教育振興基本計画の62ページに、「園所に通う就学前の子どもに1日10分以上読み聞かせをした家庭の割合」程度のことは書いてあるが、他のところは全部「教育委員会がこれだけ頑張って子どもをどうした」という数値でしか表されてない。主語が「親が」や「社会が」になったときに、どういう指標で示すのかという視点もあった方が頑張る気になれる。その辺りが読んでいて難しいと思った。

○教育長

「子どもが育つ」という柱の1つ目は、結構真剣に施策として打ち込んでいるが、「親が育つ」、「市民（人）が育つ」という部分は、施策として十分真剣には打ち込めていない。つきつめられていない。これまではそういう濃淡があったのではないか。3本柱のうち、「子どもが育つ」の部分は焦点がしっかりと当たっているが、それ以外は少し緩い。その辺りをしっかりとやっていく必要があるのではないかと思う。それを教育大綱でどう表現するか、その辺りも検討する必要があると感じながら聞かせていただいた。

○西田委員

親と地域が育たなければ子どもは育たないという思いを持っている。とはいえ、親に対して、地域に対して、何か施策的なものに取り組んでいるかという、やっているととしても評価項目がないとなると、「やっているけれど、全然評価してもらえない」のような話になって、やったものの「もっと頑張ろう」という思いになれないのではないかな。そういう項目があれば、より良い方向へ向かうのではないかなと思う。

○教育長

何かほかの視点からのお考えはないかな。

教育大綱の議論を進めていく中で、滋賀県子ども基本条例のようなものを視野に入れて進めていくが、どのように子どもにかかわってもらえるのか。検討・策定のプロセスのいずれかの段階で、子どもの意見を何らかの形で広く聴く場が必要かなと思っている。そのような観点から何かご意見はないかな。

○大更委員

子どもが自分の思いや考えを外に表現していく、意見として出していくということは、なかなか難しいと思う。学校の中で意見を表現していくような機会があれば、なお良いのではないかなと思う。こういうところで学べたらいいなという子どもの思いを受け取って、それを大綱にどう入れていくのが良いかな。

子どもも頑張ってきたことがあると思うので、そこも何らかの表現で盛り込めれば、そういうことも大切なのではないかなと思っている。

○教育長

場違いの話をするかもしれないが、ビブリオバトルのような形の場合ができればと思ったりもする。例えの話であってイメージだが、我々が検討している中間取りまとめを投げて、子どもたちがそれぞれ自分の読んだ感想・意見を発表してもらおう。オーディエンスの生徒と意見交換してもらおう。何かそういう場ができれば良いのではないかな。何らかの意見交換が子どもたちでもできれば、より良いと思っている。

本日は、手元に具体的なデータ等がない中での意見交換の場であったので、ご意見が出しづらいことがあったかなと思うのでお詫びしたいと思うが、6月から総合教育会議が本格的に、数回に分けて重ねられるので、きちんとご議論いただけるような教育委員会としてのデータもご用意した上で、第1回の総合教育会議に臨んでいただけるように準備を進めさせていただくので、よろしくお願いしたい。

今日のところは、意見交換はこれまでとさせていただく。

◎おうみ自治体クラウド共同調達・近江八幡市立図書館 新システムの更新について

【事務局説明】…図書館

【意見等】

○大更委員

IC タグは大変良いと思っている。業務が大変効率化され、その分先ほど言われたように、司書の方たちが図書館の来館者に対して、一対一の対面サービスを行うことができるようになると思うので、ぜひこの取組を進めていただきたい。

○教育長

この件については、そういうことを検討しているという程度に受け止めていただきたい。今後議会での説明や予算等のご理解を得る必要があり、本日は事務局として今こういうことを検討しているという内容を委員の皆様にご報告させていただいた。そのようにご理解をいただきたい。

9. 閉会

教育長が定例会の閉会を宣言